

Copyright © 2010
All Right Reserved - Printed in China

M1022 シリーズ Booktopユーザーマニュアル

初版: 2010/12

本マニュアルでは、新しいBooktop PCのセットアップと使用について説明します。本マニュアルに記載されている情報はチェックされたものですが、予告なしに変更することがあります。

本マニュアルのいかなる部分も、書面による事前の同意なしに、電子、機械式、複写、記録、その他を含むすべての形態や手段で、複製、検索システムへの保存、または送信することは禁止されています。

商標

記載されている製品名は製品を特定するためのものであり、各社の商標です。

Microsoft®、MS-DOS、Windows®、およびWindows® Sound Systemは、Microsoft Corporationの商標です。

Intel®、Atom™は、Intel Corporationの登録商標です。

Sound Blaster、Sound Blaster Proは、Creative Technologyの商標です。

本マニュアルに記載されているその他のブランドまたは製品名は、各社の商標または登録商標です。

安全に関する注意事項

次に記載する安全上のガイドラインに従って、Booktopを安全に使用してください。

M1022 シリーズ Booktopコンピュータを使用するとき



警告:ポータブルコンピュータを身体に載せたまま長時間使用しないでください。長時間使用すると、コンピュータの下部に熱がこもります。皮膚に長時間触れると、不快になったり火傷をすることがあります。

- ご自分でBooktopの修理を行わないでください。必ず取り付け説明書に従ってください。
- (車のキーなどの)金属がバッテリー端子と短絡することがあるので、バッテリーは、ポケット、バッグ、その他の容器に入れて持ち歩かないでください。電流が大量に流れて高温となり、火傷をすることがあります。
- ACアダプターの電源ケーブルの上に乗せないでください。また、つまづいたり、踏まれる恐れのある場所に、電源ケーブルを置かないでください。
- コンピュータを使用したりバッテリーに充電する際は、ACアダプターを机の上か床などの換気のよい場所に置いてください。ACアダプターの上には、紙や換気の妨げとなるものを載せないでください。また、ACアダプターを携帯用ケースに入れたまま使用することは避けてください。
- Booktopコンピュータの換気口に異物を差し込まないでください。差し込むと短絡を起こし、火事や電気ショックを起こすことがあります。
- Booktopのメーカーにより提供されるACアダプターおよびバッテリーのみを使用してください。その他のバッテリーやACアダプターを使用すると、火災や爆発を起こす恐れがあります。

- バッテリーを間違えて取り付けると爆発する恐れがあります。
- 交換する場合は、同じ種類のバッテリーまたはメーカー推奨の互換性のあるバッテリーのみを使用してください。
- 使用済みのバッテリーは、メーカーの指示に従って廃棄してください。
- Booktopを電源に接続する前に、ACアダプターの定格電圧と使用する電源の定格電圧が一致していることを確認します。
 - 115 V/60 Hz - 北米・南米および韓国を含む一部の極東地域。
 - 100 V/50 Hz - 東日本、100 V/60Hz - 西日本
 - 230 V/50 Hz - ヨーロッパ、中近東、極東地域
- ACアダプターに延長コードを使用する場合、延長コードにつないでいる全デバイスの総定格アンペアがコードの総容量を超えないように確認します。
- Booktopからバッテリーを取り外す場合、最初に本体をオフにしてACアダプターをコンセントから外してから、バッテリーを取り外します。
- 感電防止のために、雷雨時には、ケーブルの接続や取り外し、本製品の補修や再構成は避けてください。
- バッテリーは火中に投げ込むと爆発する恐れがあるので、投げ込まないでください。バッテリーの廃棄に関しては、地方自治体に確認してください。
- Booktopをセットアップする際には、表面が平らな場所で行ってください。

- 飛行機で旅行する際、お使いのBooktopを手荷物として預けないでください。BooktopはX線のセキュリティ装置の影響は受けませんが、金属探知器は避けてください。手荷物として機内に持ち込む場合は、Booktopのスイッチを入れるように注意された際に備えて、充電したバッテリーを用意してください。
- Booktopのハードドライブを取り外して旅行する場合は、布や紙などの絶縁材でドライブを包んでください。手荷物として機内に持ち込む場合は、ドライブをBooktopに取り付けるよう注意されることがあります。ハードドライブはX線のセキュリティ装置の影響は受けませんが、金属探知器は避けてください。
- 機内の荷物棚の中に入れてと動くことがあるので、Booktopは荷物棚に入れてください。Booktopを落したり、衝撃を与えないようにしてください。
- Booktop本体、バッテリー、およびハードドライブを保管する際は、ゴミ、埃、食べ物、液体、極端な気象状況、および直射日光を避けてください。
- 温度や湿度が大きく異なる環境にBooktopを移動する場合、本体の内部や外部に結露ができることがあります。Booktopが損傷しないように、水分が完全に蒸発してから使用してください。

注意:Booktopを寒い場所から暑い場所へ移動する場合、またはその逆の場合は、Booktopが新しい環境に十分慣れるまで待ってから電源を入れてください。

- 電源コードを抜く場合は、電源コード自体ではなく、コネクタまたは張力のがしループを引き抜きます。コネクタを引き抜く場合は、接続ピンを曲げないよう均等に力を入れて引き抜きます。また、電源コードを接続する前に、コネクタが正しい方向になっていること、整列していることを確認します。

- Booktopを掃除する場合は、まず、電源から抜き取り、さらにバッテリーを取り外して電源を切ります。
- 内部コンポーネントは慎重に取り扱ってください。コンパートメントを取り外す場合、(メモリモジュールなどの)接続ピンではなく端を掴みます。



電話装置を使用する場合、火事、電気ショック、怪我を避けるために、必ず下記の安全に関する注意事項に従ってください。

- 本製品は、浴槽、洗面台、キッチン/洗濯槽、濡れている地下室、プールなどの水のそばで使用しないでください。
- 稲光で電気ショックが起きることがあるので、雷雨の際にはコードレス電話は使用しないでください。
- ガス漏れの場合は、その近くで電話を使用しないでください。

警告:保証の失効

- * バッテリーは適切に処理しないと爆発する恐れがあるので、必ず同じ種類または互換性のあるバッテリーを使用してください。
- * 使用済みのバッテリーは、メーカーの指示に従って廃棄してください。
- * ひびが入っている、ひどく傷が付いている、または劣悪な品質のディスクを使用すると、光学式ドライブが破損し、ディスクのデータが破壊されることがあります。ドライブが高速で作動すると、この種のディスクは破損することがあります。このような場合には、お使いの製品の保証は無効となります。

規制に関する注意

米連邦通信委員会(FCC)の通達

本装置は、テストの結果、FCCルールPart 15のClass Bデジタルサービス向けの規制に準拠しています。これらの規制の目的は、住宅への設置で発生する有害な干渉に対する合理的な保護手段を提供することです。

本装置を変更したり改善した場合、本装置の操作権限は失効します。本装置は無線周波エネルギーを生成、使用、さらに放出することがあります。説明書に従って設置/使用しない場合、無線通信に有害な干渉をもたらすことがあります。特定の方法で取り付けられた場合、この干渉を防止できるという保証はありません。本装置のためにラジオやテレビの受信が妨害された場合は、本装置のスイッチを切って実際に妨害しているか確認し、以下のいずれかの方法で問題を解消してください。


- 受信アンテナの方向や位置を変えます。
- 装置とレシーバをできるだけ離れた位置に配置します。
- 装置とレシーバの電源はそれぞれ別のコンセントに接続します。
- 販売店または経験のあるラジオ/テレビ技術者にお問い合わせください。
- この装置に接続するすべての外付けケーブルはシールドされたものでなければなりません。
PCカードへのケーブル接続については、PCカートのマニュアルまたはインストール手順を参照してください

RF暴露

この装置は提供された指示に従ってインストール・操作されなければならず、他のアンテナまたはトランスミッタと共に操作すべきではありません。エンドユーザーおよび設置者はRF干渉条件を満たすため、アンテナ設置方法およびトランスミッタ使用条件を理解しておく必要があります。

SAR値:0.112 W/Kg

CE通告(欧州連合)

このマークは、M1022 シリーズ BooktopコンピュータがEMC指令および欧州連合の低電圧指令に準拠していることを示すマークです。また、このマークはM1022 シリーズが以下の技術基準に合致していることも示すものです。

- EN 55022 — 「IT装置の電波干渉の制限と測定メソッド」。
- EN 55024 — 「IT装置 – 電波波耐性 – 測定の限界とメソッド」。
- EN 61000-3-2 — 「電磁波互換性(EMC) – 第3章: 制限 – セクション2: 高調波放射の制限(装置の入力電流は最高16 A/位相)」。
- EN 61000-3-3 — 「電磁波互換性(EMC) – 第3章: 制限 – セクション3: 定格電流が最大16 A以内の装置向けの電圧変動と低電圧電源システムのフリッカに関する制限」。
- EN 60950 — 「IT装置の安全性」。



メモ: EN 55022放射要件は次の2種類に分類されています。

- Class A – 商業用
- Class B – 住宅用

CBの場合:

- バッテリーはこのコンピュータ向けに設計されたのもののみを使用してください。正しいバッテリーを使用しないと爆発、液漏れまたはコンピュータの損傷の危険があります。
- 電源がオンになっているとき、コンピュータからバッテリーを取り外さないでください。

- 落としたり、損傷していると思われる(曲がったりよじれている場合など)バッテリーを引き続き使用しないでください。損傷したバッテリーを装着している場合、たとえコンピュータが作動していても回路が損傷し、火災を引き起こすことがあります。
- Booktopのシステムを使用してバッテリーを充電してください。充電方法を間違えると、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- バッテリーパックはご自分で修理しないでください。バッテリーパックの修理や交換については、サービス代理店または専門技術者にお問い合わせ下さい。
- 損傷したバッテリーはおお客様の手の届かないところに置き、速やかに廃棄してください。バッテリーを廃棄する際は、常に注意を払う必要があります。バッテリーを火に投じたり、不適切に処理または廃棄すると、爆発または液漏れの危険があります。
- バッテリーは金属装置に近づけないようにしてください。
- バッテリーを廃棄する前に、バッテリー端子にテープを貼ってください。
- 手または金属物体でバッテリー端子に触れないでください。

バッテリーの廃棄と警告

ご購入された製品には充電式バッテリーが付属しています。バッテリーはリサイクル可能です。耐用年数が過ぎた後、アメリカ州法および地域法に従って廃棄してください。このバッテリーを都市ゴミとして廃棄することは違法です。地域のリサイクル方法と適切な廃棄について、詳しくは地方自治体の担当部署にお問い合わせ下さい。

バッテリーを正規品と交換しないと爆発の危険があります。交換する際は、メーカーが推奨するバッテリーまたは同等のものだけを使用するようにしてください。使用済みのバッテリーは、メーカーの指示に従って廃棄してください。

BSMI通告(台湾のみ)

ほとんどのBooktopコンピュータは、BSMIのClass B ITEに分類されています。



R32323

上記のマークを製品に添付し、BSMI基準に準拠していることを示さなければなりません。



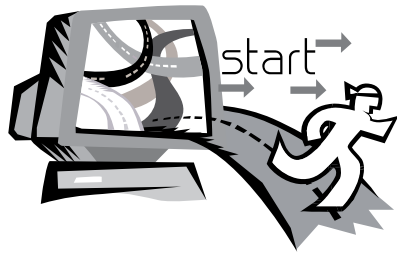
はじめに

Booktopコンピュータを購入いただきまして誠にありがとうございます! 新しいBooktopは、最新のポータブルコンピューティング技術を装備しています。Booktopは最先端のエルゴノミクスと洗練されたアーキテクチャを組み合わせ、コンパクトでパワフルな使いやすいパーソナルコンピュータです。広範囲な汎用、ビジネス、パーソナルな生産性アプリケーションとして設計されたBooktopは、オフィスでも家庭でも、さらに旅行時にも最適なコンピュータです。

このマニュアルには、Booktopコンピュータをセットアップしたり使用するのに必要なすべての情報が含まれています。本装置の機能をあますところなく、しかも読みやすく説明しています。

目次

安全に関する注意事項.....	I
規制に関する注意.....	III
はじめに.....	VII
第1章 M1022 シリーズ Booktopについて	
1.1 パノラマビュー.....	2
1.2 M1022 シリーズ左側面.....	3
1.3 右側面.....	3
1.4 カバー側.....	4
1.5 底面側.....	4
1.6 ステータスインジケータ.....	5
1.7 M1022 シリーズ Booktop電源のオン/オフ.....	6
1.8 キーボードの機能.....	6
1.9 タッチパッドの使用.....	8
1.10 内蔵カメラの使用.....	8
1.11 音声の使用.....	8
1.12 ワイヤレスLANの使用 (WLAN).....	9
1.13 バッテリーパックの使用.....	9
1.14 ACアダプターの接続.....	10
1.15 M1022 シリーズデバイスドライバのインストール.....	11
1.16 動作温度:.....	11
第2章 バッテリーについて	
2.1 バッテリーパック.....	14
2.2 バッテリーパックの充電.....	14
2.3 Q&A.....	14
2.4 バッテリーの保守.....	15
2.5 消費電力.....	15
2.6 消費電力の削減.....	15
2.7 バッテリーパックの取り外し.....	16
2.8 本体をACアダプターと接続する.....	16
2.9 バッテリー容量の確認.....	17
第3章 ドッキングステーションについて	
3.1 ドッキングステーションの手順.....	20
3.2 ドッキングステーションパノラマ図.....	20
3.3 後部図.....	21
3.4 システム本体のマウント.....	22
第4章 BIOSセットアッププログラムについて	
4.1 BIOSセットアップユーティリティの使用.....	24
4.2 メインメニュー.....	25
4.3 詳細メニュー.....	26
4.4 セキュリティメニュー.....	27
4.5 起動メニュー.....	28
4.6 終了メニュー.....	28
第5章 Smart Managerについて.....	29
第6章 トラブルシューティング / Q&A	
6.1 トラブルシューティング.....	33
6.2 Q&A.....	36
付録I 仕様	
付録II XPRESS RECOVERY 3 Lite について	
付録III サービスセンター	



第1章 M1022 シリーズ Booktop について

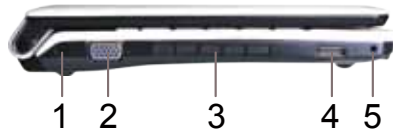
本章では、ACアダプターの接続、コンピュータの電源を入れる方法、タッチパッド、キーボード、ホットキー、バッテリーなどの使用を始めとする、M1022 シリーズ Booktopコンピュータの操作方法について説明します。コンピュータとOSを初めて使用する場合、この章で新しい、エキサイティングな機能を学習できます。

1.1 正面



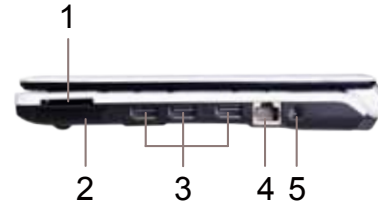
番号	アイテム	機能
1	Webカメラ	内蔵1.3Mカメラ。
2	LCD	システムから出力されるコンテンツを表示する。
3	スピーカー	内蔵スピーカーがステレオサウンドを提供します。
4	電源ボタン	コンピュータのオン・オフおよびサスペンドモードからのレジュームを行います。
5	6個のシステムLEDインジケータ	6個のLEDインジケータがBooktopの状態を表示します。 左から右へ： → 3.5G状態 → Bluetooth表示 → WLAN信号表示 → HDD表示 → バッテリー表示 → 電源オン表示
6	タッチパッド	ポインタの移動、画面上のアイテムの選択や有効化に使用します。
7	内蔵マイク	内蔵マイク
8	MICジャック	MICジャック マイク入力
9	ヘッドホン出力	音声出力用装置を接続します。
10	キーボード	コンピュータに文字や数字を入力します。
11	バッテリーパック	バッテリーコンパートメントに装着し、AC電源が接続されていないときにM1022シリーズ Booktopに電力を供給します。

1.2 M1022 シリーズ左側面



番号	アイテム	機能
1	ケンシントンロック	ケンシントン互換のセキュリティロックをつなぎます。
2	D-SUB	VGAモニタを接続します。
3	換気口	M1022 シリーズ Booktopから熱を放出します。
4	ドッキングステーションコネクタ	ドッキングステーションを接続します。
5	ドッキングステーションガイド	ドッキングステーションに固定します。

1.3 右側面



番号	アイテム	機能
1	メディアカードスロット	メディアカードリーダー。
2	Express Cardスロット	Expressカードを接続します。(M1022Cは非対応)
3	USBポート	USB装置を接続します。
4	LAN RJ45ジャック	LANに接続します。
5	DCイン用穴	ACアダプターをM1022 シリーズ Booktopの電源に接続します。

1.4 カバー側



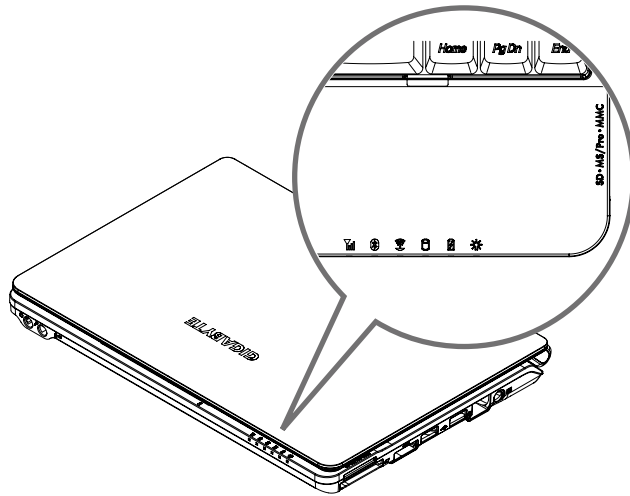
番号	アイテム	機能
1	カバー	M1022 シリーズ Booktop本体を保護します。

1.5 底面側



番号	アイテム	機能
1	バッテリーパック	M1022 シリーズ Booktop電源として働く交換可能なバッテリーです。
2	メモリカバー	DDRIIメモリSo-Dimmのアップグレードに使用します。
3	HDDカバー	SATA HDDのアップグレードに使用します。

1.6 ステータスインジケータ



アイコン	アイテム	機能	
	3.5G	WWANオン/オフ状態。	
	BluetoothのLED	Bluetoothオン/オフ状態。(オプション)	
	ワイヤレスLAN	このLEDは、ワイヤレスLANの電源がオンになると点灯します。	
	HDD	M1022 シリーズ Booktopはハードディスクの読み書き中。	
	バッテリーのステータス	ブルー消灯	充電が完了した、または本体の電源にACアダプターを使用していない。
		ブルー点滅	バッテリーの充電中。
	電源ステータス	ブルーオフ	システムの電源が切れている、またはハイバネーションモードである。
		ブルー点滅	システムがスタンバイモードである。
		ブルーオン	システムが稼動している。

1.7 M1022 シリーズ Booktop電源のオン/オフ

電源を入れる

M1022 シリーズ Booktopの上蓋を開けて、電源ボタンを1、2秒押ししてください。コンピュータに電源が入ると電源インジケータがブルーになります。

電源を切る

M1022 シリーズ Booktopコンピュータをしばらく使用しない場合は電源を切ります。電源を切る前に、すべてのプログラムを閉じてOSを終了します。

M1022 シリーズ Booktopコンピュータの電源を切った後、LCDパネルを長時間使用した場合はしばらく開いておくようにします。こうするとM1022 シリーズ Booktopコンピュータの内部の温度が下がります。パネルを締めるとLCD画面に放熱されるので、これを繰り返していると画面が破損することがあります。コンピュータがオンになっている場合、または省エネ機能が無効になっている場合、LCDパネルを長時間閉めたままにしないでください。

1.8 キーボードの機能

M1022 シリーズ Booktopコンピュータには、追加機能を搭載した標準タイプライターのレイアウトによるキーボードが装備されています。



アイコン	説明
Caps Lock	Caps Lock (キャップスロック) を押すと、すべての文字が大文字に設定されるようになります。
Num Lk	数値キーパッドのオーバーレイをオンにするには、 Num Lk を押します。
Fn+Scri Lk	プログラムによっては、このキーを押すと画面の下にスクロールできるようになります。
	このキーを押すと、Windows®の[スタート]メニューが起動します。
	このキーを押すと、マウスの右キーとして機能します。

Fn組み合わせキー(ホットキー)



Fnキーとその他のキーを組み合わせると、起動、終了、または特別な機能を設定します。この組み合わせはホットキーとも呼びます。ホットキーを使用するには、<Fn>と以下のキーを同時に押します。

アイコン	説明
Fn+F1 	ハイバネーション このキーの組み合わせを押すと、システムはハイバネーションモードに入ります。 このモードで、LCDパネルのバックライトはオフになり、内部デバイスのホストは低消費電力になります。
Fn+F2 	ワイヤレスLAN ワイヤレスLANをアクティブにします。
Fn+F3 	明るさを下げます このキーの組み合わせを押すと、LCDの明るさが下がります。
Fn+F4 	明るさを上げる このキーの組み合わせを押すと、LCDの明るさが上がります。
Fn+F5 	LCD / ビデオアウトスイッチ この組み合わせキーを押すと以下の切り替えができます： LCDモードのみ、 ビデオアウトモードのみ、 LCDとビデオアウト同時モード 注意：この機能は、OSの特定の設定でのみ有効です。 OSのマニュアルを参照してください。

Fn+F6



タッチパッドオン/オフ・ボタン

このボタンを押すと、タッチパッド機能がオン・オフに切り替わります。

Fn+F7



消音

この組み合わせを押すと、オーディオ信号の出力をオン/オフできます。

Fn+F8



音声弱

この組み合わせキーを押すと音声出力が小さくなります。
注意：この機能は、OSの特定の設定でのみ有効です。
OSのマニュアルを参照してください。

Fn+F9



音声強

この組み合わせキーを押すと音声出力が大きくなります。
注意：この機能は、OSの特定の設定でのみ有効です。
OSのマニュアルを参照してください。

Fn+F10



3.5G

3.5Gを有効にします(オプションの機能)

Fn+F11



Bluetooth

Bluetoothを有効にします。(オプション)

1.9 タッチパッドの使用

内蔵タッチパッドは、表面の動きを検出するPS/2互換のポインティングデバイスです。タッチパッドの表面で指を動かすことによりカーソルが反応します。パッドの中央部を使用すると一番快適に動作させることができます。

以下にタッチパッドの使用方法を説明します。

- 指をタッチパッド全体に動かすとカーソルが動きます。
- タッチパッドの端にある左右のボタンを押すと、選択して実行できます。これら2つのボタンは、マウスの左右のボタンと似ています。
- タッチパッドを軽く叩いても同じ結果となります。

1.10 内蔵カメラの使用

この機能は、購入されたM1022シリーズ Booktopの設定によっては使用できない場合もあります。購入されたモデルに内蔵カメラが搭載されている場合は、インスタントメッセージソフトウェアやビデオ編集ソフトウェアなどでビデオ機能が使えます。



.....

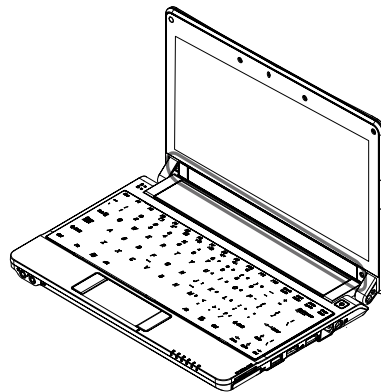
ヒント: 内蔵カメラの使用方法については、ユーティリティソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。



.....


ヒント: 内蔵カメラは、1つ以上のソフトウェアアプリケーションと共有することはできません。別のアプリケーションがカメラを使用している場合、内蔵カメラを使用する前にそのアプリケーションを終了します。

1.11 音声の使用



Windows OSで以下のようにボリュームを調整します。

タスクバーのボリュームアイコン  をクリックし、ボタンを使ってボリュームを調整します。

または、ボリュームアイコン  をダブルクリックし、[Volume Control(ボリュームコントロール)]を起動してボリュームをコントロールします。



.....

ヒント: ボリュームは、Fn組み合わせキーを使用しても調整できません。「FN組み合わせキー」を参照してください。

イヤホンやマイクなどの外付けオーディオ機器を接続する前に音声を調整します。

1.12 ワイヤレスLANの使用 (WLAN)

ワイヤレスLANを使用するとネットワークに接続して、家庭やオフィスでインターネットを使用できるので、ケーブルやワイヤを引きずって歩く必要がありません。

ワイヤレスネットワークの接続と使用

ファンクションキー (**1.8 起動キーの使用**) またはFn組み合わせキー (**(1.8キーボードの機能)**) を使用して、WLANをオンにします。タスクバーのワイヤレスネットワークアイコンを右クリックして、[View available wireless network (使用可能なワイヤレスネットワークの表示)]を選択します。

接続するAP(アクセスポイント)を選択し、必要な情報を入力します。[Connect(接続)]をクリックします。マウスのポインタをタスクバーのワイヤレスネットワークのアイコン上に置くと、ワイヤレスネットワークの状態が表示されます。



.....
ヒント: ワイヤレスネットワークのマニュアルには詳細な説明が記載されています。



.....
 この機能は購入されたBooktopの設定によっては使用できない場合があります。お使いのモデルがこの機能をサポートするかどうかは仕様書を参照してください。



.....
注意: ワイヤレスLANのセキュリティ設定を作成します。ワイヤレスLANの使用によりセキュリティ問題が発生した場合、当社は責任を負いません。

1.13 バッテリーパックの使用

M1022 シリーズ Booktopコンピュータは、次のいずれかの電源を使用して作動するように設計されています。

- AC電源(コンセントに接続してあるACアダプターを使用)
- リチウムイオンバッテリーパック

できるだけACアダプターを使用します。AC電源が使用できない場合はバッテリーパックのみを使用します。バッテリーパックを使用することにより外部電源を使用せずにM1022 シリーズ Booktop動作させることができます。M1022 シリーズ BooktopにACアダプターを接続すると、内蔵バッテリーの充電が開始されます。バッテリーが充電している間は、インジケータパネルのバッテリー充電アイコンが点灯します。バッテリーが十分に充電されるとバッテリー充電アイコンは消えます。バッテリー充電に掛かる時間は、コンピュータの電源を切っている状態で約2.5時間、稼働時に約は3.5時間となります。

- ビデオ、オーディオ機器を使用すると、コンピュータの電気の消費が増えます。
- モニタの明るさを下げると電力を節約できます。
- バッテリーが十分に充電されていない場合、使用する前にACアダプターを接続して十分に充電してください。使用する前にバッテリーの状態を確認してください。
- リチウムイオンバッテリーは損傷することがあります。他の電源アダプタを使用すると火災や爆発することがあるので使用を避けてください。

バッテリーの交換

バッテリーは徐々に劣化します。バッテリーの持ち時間が大幅に短くなった場合はバッテリーを交換してください。

次の手順に従ってバッテリーパックを交換します。

1. コンピュータの電源を切る。
2. カバーを閉じて、コンピュータを裏返す。
3. バッテリーのラッチをずらす。バッテリーを取り外すまで固定しておく。
4. バッテリーコンパートメントに挿入する前に、交換用バッテリーが正しい方向になっているか確認する。

メモ：バッテリーの残容量が95%以上の場合は100%充電できません。これは、充電頻度とバッテリーの残容量を延ばすサプライヤの忠告に従っているためです。

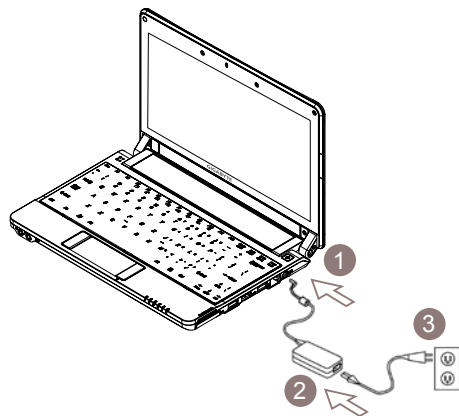
ACアダプターの保守

- アダプタを他のデバイスに接続することは避けてください。
- 電源コードを踏んだり、上に重いものを載せないようにしてください。また電源コードは、人が歩かない場所に設置するようにします。
- 電源コードを抜く場合は、コード自体を引っ張るのではなく、プラグを引っ張るようにします。
- 延長コードを使用している場合は、コードに繋いでいるデバイスが全容量を超えないよう確認します。さらに、コンセントに差し込んでいるデバイスが、ヒューズの定格総アンペアを超えないよう確認します。
- コードをコンセントに接続する前に、電圧を確認してください。電気仕様が不明な場合は、お近くのベンダまたは電力会社に詳細を問い合わせてください。

1.14 ACアダプターの接続

ACアダプターはコンセントから供給されるAC電源を、コンピュータに適したDC電源に変換する装置です。100～240ボルトのAC電源を12VのDC電源(M1022シリーズの場合は12V/3.0A)に変換するので、ほとんどすべての地域でM1022シリーズ Booktopを使用することができます。

警告：推奨品のACアダプターと電源コードのみを使用してください。違うアダプタを使用すると、コンピュータが破損することがあります。ACアダプターを間違った方法で使用して破損した場合、当社は責任を負いません。



次の手順に従ってアダプタを正しく接続します。

1. 電源コードをACアダプターに接続する。
2. ACアダプターをコンピュータのDC電源ポートに接続する。
3. ACアダプターの電源コードをコンセントに接続する。

1.15 M1022 シリーズデバイスドライバのインストール

M1022 シリーズ BooktopコンピュータにOSを再インストールした場合は、ハードウェアが正常に機能するように、必要なデバイスドライバをインストールする必要があります。

ドライバをインストールする前に、必要なドライバがすべてOSにインストールされているかベンダに確認してください。まだインストールされていない場合は、次の手順でインストールします。

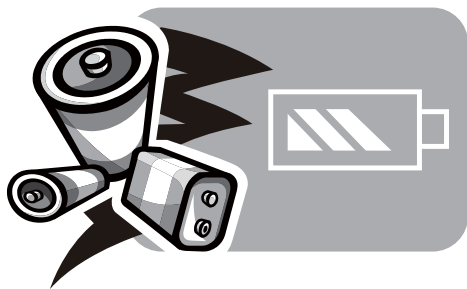
1. 図のようなユーティリティドライバCDを用意します。



2. CDをCD R-WまたはDVD-RW(オプション)ドライブに差し込みます。自動実行インストール画面が表示されます。

1.16 動作温度:

動作温度: 10°C~40°C



第2章 バッテリーについて

2.1 バッテリーパック

M1022 シリーズ Booktopには充電式高エネルギーリチウムイオン(Li-Ion)バッテリーパックが搭載されています。バッテリーの残容量は、製品の設定、製品モデル、製品に搭載されるアプリケーション、製品の電源管理設定、および製品機能の使用法により異なります。すべてのバッテリー同様、本バッテリーの最大容量は使用するにつれて減少します。

2.2 バッテリーパックの充電

M1022 シリーズ Booktopはオンライン、オフラインのどちらでも充電できます。次の手順に従ってバッテリーを充電します。

- M1022 シリーズ Booktopにバッテリーパックが取り付けられているか確認してください。
- ACアダプターをM1022 シリーズ Booktopとコンセントに接続します。

バッテリーパックの充電が完了すると、バッテリーのLED (LCDディスプレイの左上)が点灯します。LEDの詳細は第1章3を参照してください。M1022 シリーズ Booktopの電源がオフの場合、消耗したリチウムイオンバッテリーを充電するには3.5時間要します。

2.3 Q&A

Q: バッテリーパックが熱くなっていますが、大丈夫でしょうか？

A: バッテリーは、充電時および放電時には熱を発生します。M1022 シリーズ Booktopには過熱を防止する回路があります。心配する必要はありません。

Q: バッテリーの作動時間が短過ぎます。なぜですか？

A: バッテリーは熱に対して敏感です。バッテリーとその使用環境温度が15~25°C (59~77°F)以内の場合は最大容量まで充電できます。充電中に温度がこの範囲から逸脱するほど、バッテリーは完全に充電されなくなります。パックを最大容量まで充電するためには、ACアダプターを電源から抜いて温度を下げます。温度が下がるまで待ちます。その後、ACアダプターを電源に差し込んで充電を開始します。

Q: 予備のバッテリーを数日使いませんでした。完全に充電されていても、新しいバッテリーほどのパワーが出ません。なぜですか？

A: バッテリーは、充電していないときには自然に放電します。バッテリーパックを完全な充電状態にするために、使用前に充電してください。バッテリーはいつもM1022 シリーズ Booktopに取り付け、ACアダプターを接続状態にしておきます。

Q: 予備のバッテリーを数か月使わなかったら、充電できなくなりました。

A: バッテリーパックは長期間—例えば3か月間—使用しないしていると自然に放電されて電圧が下がるので、通常の自動急速充電(リチウムイオンのみ)をする前に、プレ充電が必要です(バッテリーの電圧を上げる)。プレ充電の所要時間は30分です。急速充電の所要時間は通常2~3時間です。

2.4 バッテリーの保守

バッテリーパックの最大容量を維持するために、充電する前に時々M1022 シリーズ Booktopのバッテリーを完全に使い切る必要があります。

バッテリーを完全に使い切るためには、ACアダプターを取り外してM1022 シリーズ Booktopのバッテリーの残容量を完全に使い切りませす。消耗のスピードアップを図るには、できるだけHDDを使います。バッテリーが空になったら、M1022 シリーズ Booktopの温度(特にバッテリーの温度)が下がるまで待ちます。15 ~ 25°C (59 ~ 77°F)に下がるまで待ちます。下がったらACアダプターを差し込んでバッテリーを充電します。

2.5 消費電力

Windows™ OSには最新のACPI(Advanced Configuration Power Interface)電源管理技術が統合されています。バッテリーパックの電源を十分に活用するために、OSの電源管理を理解することが推奨されます。

Windows™ OSを使用されている場合、コントロールパネルの電源オプションから設定できます(設定方法はM1022 シリーズ Booktop にインストールされたWindows™ OSのバージョンにより異なります。詳細はWindows™のヘルプをご参照ください)。

2.6 消費電力の削減

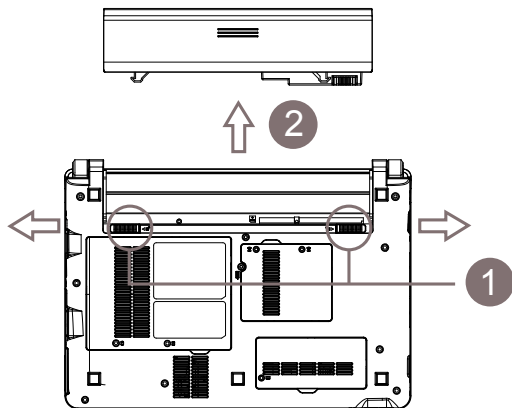
お使いのM1022 シリーズ Booktop (OSインストール済み)では節電が可能です。さらに消費電力を削減する方法もあります。

- できるだけAC電源を使用する。
- ファイルの読み取りや書き込みには、外付けのUSB FDDではなくHDDドライブを使用する。
- Web Cam, WLAN, Bluetooth®など、使用していないデバイスを無効にする。
- Windowsの設定でLCDパネルの輝度を下げる。

メモ: 電源の投入に関わらず、バッテリーパックは必ずバッテリーパックコンパートメントにインストールします。

2.7 バッテリーパックの取り外し

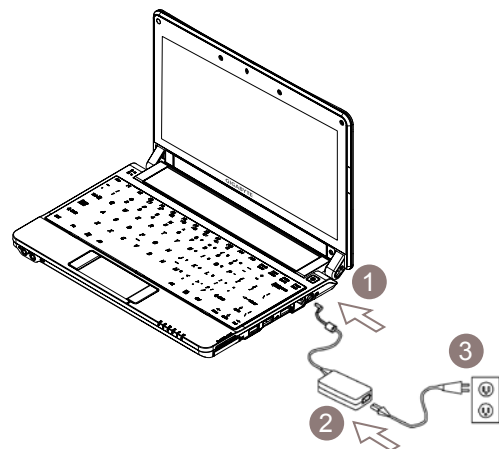
このバッテリーパックは簡単に取り外し/交換できます。バッテリーパックを交換する際は、コンピュータがシャットダウンしているか確認してください。電源が入っているときにバッテリーパックを交換する場合は、バッテリーパックの他にも電源を使用していることを確認します。次の手順に従ってバッテリーパックを取り外します。



- 本体がシャットダウンしていることを確認します。
- 図のように、本体を裏返しに置きます
- バッテリーのラッチを押して、#1のようにロックを解除します。

上記の手順の逆の順番で、バッテリーパックを挿入します。

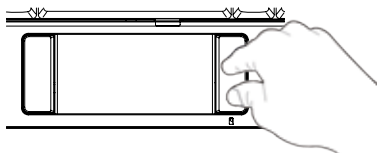
2.8 本体をACアダプターと接続する



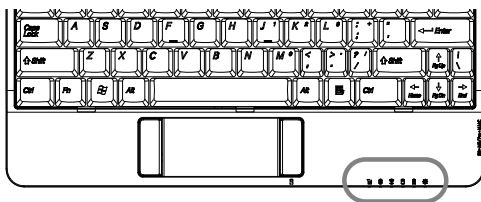
- #1のように、ACアダプターを本体に接続します。
- #2のように、AC電源コードをACアダプターに接続します。
- #3のように、電源コードの他の端をコンセントに接続します。

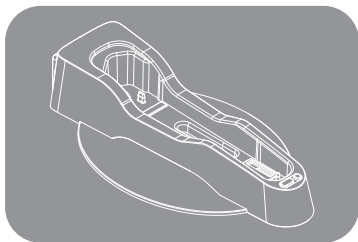
2.9 バッテリー容量の確認

システムが「スタンバイ」、「ハイバネーション」および「電源オフ」の時、タッチパッドの右ボタンを押すとバッテリー容量が確認できます。



LEDインジケーターでバッテリー残容量が表示されます。





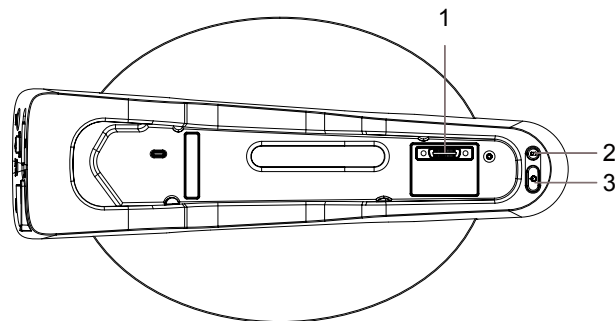
第3章

ドッキングステーション について (オプション)

3.1 ドッキングステーションの手順

このデバイスはBooktopの拡張使用のために垂直のドッキングステーションベースを提供すべく作られました。ドッキングステーションは、ポータブルなラップトップコンピュータを正しく設置すると、外部ディスプレイや一般のコンピュータ周辺機器と接続するソリューションを提供します。連続使用による人間工学的不都合を解消します。さらに、このドッキングステーションは、従来のデスクトップコンピュータに比べてより多くのスペースを節約できる縦型となっています。

3.2 ドッキングステーションパノラマ図



1. ドッキングステーション側面のドッキングステーションコネクタ
2. バッテリー表示ボタン
3. 電源ボタン

メモ：

バッテリー表示ボタン：

1. このボタンを押すと、Booktop本体の6個のダイナミックLED表示によりバッテリー残容量を確認できます。

ダイナミックLEDはバッテリーが充電中かどうかにかかわらずバッテリー残容量を表示します。

90%以上：全部6個のインジケータが点灯

74%～90%：インジケータ5個点灯

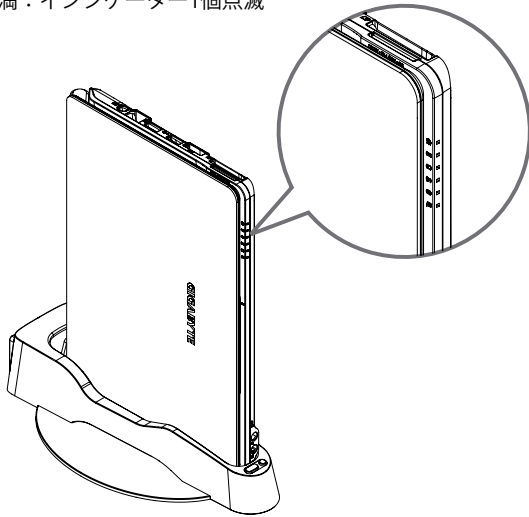
58%～74%：インジケータ4個点灯

42%～58%：インジケータ3個点灯

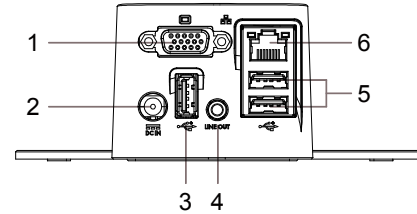
26%～42%：インジケータ2個点灯

10%～26%：インジケータ1個点灯

10%未満：インジケータ1個点滅



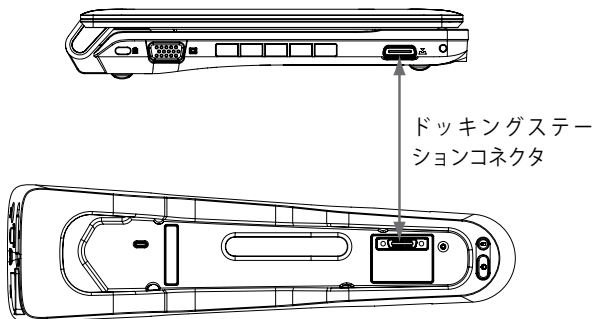
3.3 後部図



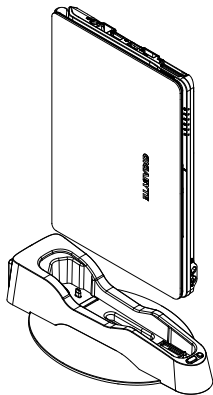
1. D-SUB
2. DC-入力ジャック
3. USBポート
4. オーディオアウト
5. USBポート
6. LAN RJ45ジャック

3.4 システム本体のマウント

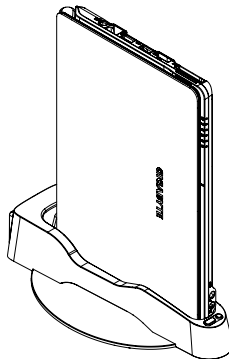
- コネクタがそれぞれ正しく合わさっていることを確認します。



- Booktop本体を図のようにドッキングステーションに入れます。



- 図のようにコネクタが接続されると、本体は正しくマウントされています。



システム本体を取り外すには、上記の逆の手順で行います。

メモ：

1. ドッキングステーションはホットプラグアンドプレイ機能をサポートしています。機器を自由に脱着できます。
2. ドッキングステーションの「電源ボタン」を押して、本体の起動やシャットダウンができます。
3. ドッキングステーションは、DC-INジャックが接続されている時のみ動作します。
4. M1022シリーズBooktopで、ドッキングステーションをご利用される場合、ドッキングステーション側に接続されているACアダプターを抜かないでご利用ください。
5. ドッキングステーションのD-sub出力について、解像度1024 x 768にてEMI認定を取得しました。



第4章 BIOSセットアッププログラムについて

BIOSセットアップユーティリティは、M1022 シリーズ BooktopのBIOS（基本入出力システム）に組み込まれているハードウェアの設定プログラムです。お使いのM1022 シリーズ Booktopは正しく構成・最適化されています。このユーティリティプログラムを実行する必要はありません。ただし、構成上の問題が発生した場合は、これを実行する必要があります。

4.1 BIOSセットアップユーティリティの使用

M1022 シリーズ BooktopにはBIOSセットアップユーティリティが付属しており、コンピュータのさまざまなオプション機能用の設定を含め、重要なシステム設定を構成することができます。本章では、BIOSセットアップユーティリティの使用法について説明します。

BIOSセットアップメニュー

BIOSセットアップユーティリティでは、コンピュータの基本設定を構成します。コンピュータの電源をオンにすると、システムはこの情報を読み取ってハードウェアが正しく動作するように初期化します。コンピュータの起動構成を変更するには、BIOSセットアップユーティリティを使用します。例えば、システムのセキュリティと電源管理ルーチンを変更することができます。

BIOSセットアップユーティリティの起動

BIOSセットアップユーティリティはコンピュータのブートプロセスの間、つまりコンピュータの電源をオンにしてからWindowsのインターフェイスが表示されるまでの間しか起動することができません。コンピュータの電源がすでにオンになっている場合、コンピュータをシャットダウンし(電源オフ)、再起動してからF2キーを押してセットアップユーティリティを起動します。

BIOSの情報をナビゲートし設定する

次のキーを使ってフィールド間を移動したり、情報を設定します。

F1	ヘルプ
ESC	終了
↑ ↓	項目の選択
← →	メニューの選択

F7/F8	値の変更
Enter	▶ サブメニューの選択
F9	デフォルトのセットアップ
F10	保存して終了

一部のフィールドではデフォルト設定に変えて新しい値を入力できませんが、それ以外のフィールドはシステムのデフォルトパラメータで指定されており、ユーザーの側で変更することはできません。メインオプションの属性を反転してEnterキーを押し、サブメニューに入ります。Escキーを押して、前の構成ページに戻ります。

メニュー	説明
Main (メイン)	Main (メイン)画面には、M1022 シリーズ Booktopのハードウェア情報について、および基本的なセットアップパラメータが表示されません。
Advanced (詳細)	ハードウェアデバイスなどのパラメータが表示されます。
Security (セキュリティ)	M1022 シリーズ Booktopを不正使用から保護するためのパラメータが表示されます。
Boot(起動)	起動装置の順番および、装置の有効/無効を設定する。
Exit(終了)	システムを設定するインターフェイスを終了します。



ヒント:メニュー及びキーの詳細は、各項目のヘルプを参照してください。M1022 シリーズ Booktopの製造ロットによりBIOSのバージョンが異なるため、設定項目が若干異なる場合があります。



注意:お使いのM1022 シリーズ BooktopのBIOSは最適設定に初期化されています。必要ない限り、変更することは避けてください。



ヒント:本章の写真はお持ちのM1022 シリーズ BooktopのBIOS設定画面と若干異なる場合があります。画面のイメージを伝えるための参考写真となります。

4.2 メインメニュー

InsydeH20 Setup Utility		REV. 3.5
Main	Advanced	Security Boot Exit
System BIOS Version	M1022 F02	Item Specific Help
Processor Type	Intel® Atom™ CPU N270 @ 1.60GHz	F7 Reduce Number, F8 Increase Number, No action for Number Keys.
System Bus Speed	533MHz	
System Memory Speed	533MHz	
Cache RAM	0512 KB	
Total Memory	1024 MB	
System Time	[19:28:25]	
System Date	[03/12/2009]	
F1 Help ↑ ↓ Select Item F7/F8 Change Values F9 Setup Default		
ESC Exit ← → Select Menu Enter Select ► Sub-Menu F10 Save and Exit		

System Time(システムの時間)

時:分:秒の順番に並んでおり、M1022 シリーズ Booktop本体のシステムの時間を変更できます。

各フィールドに現在の時間を入力します。各フィールド間を移動するには、<Tab>、<Shift>+<Tab>、またはEnterキーを使用します。システムの時間はOSでも変更できます。

System Date(システムの日付)

月/日/年の順番に並んでおり、コンピュータ本体の日付を設定できます。各フィールドに現在の時間を入力します。各フィールド間を移動するには、<Tab>、<Shift>+<Tab>、またはEnterキーを使用します。システムの時間はOSでも変更できます。

4.3 詳細メニュー

InsydeH20 Setup Utility		Rev. 3.5G
Main	Advanced	Security Boot Exit
▶ Boot Configuration		Item Specific Help
▶ IDE Configuration		Configures Boot
Advanced S3:	[Enable]	Settings.
Keyboard language	[US, Chinese]	
F1 Help	↑ ↓ Select Item	F7/F8 Change Values
F10 Save and Exit	← → Select Menu	F9 Setup Default
ESC Exit	Enter Select▶ Sub-Menu	

Keyboard Language キーボード言語

[オフ]/[ドイツ]/[韓国語]/[日本語]/[UI]/[アメリカ、中国語]

BOOT CONFIGURATION(NumLockキー状態設定)

NumLock機能オン/オフを設定します。

IDE CONFIGURATION(ハードディスク状態設定)

IDE/SATAを設定します

ADVANCED S3(システムスタンバイ機能を設定します)

ENABLE/オン DISABLE/オフ

4.4 セキュリティメニュー

InsydeH20 Setup Utility		Rev. 3.5G
Main	Advanced	Security
Supervisor Password : Not Installed		Item Specific Help Install or Change the password and the length of password must be greater than one word.
User Password : Not Installed		
Set Supervisor Password		
Set User Password		
F1 Help	↑ ↓ Select Item	F7/F8 Change Values
ESC Exit	← → Select Menu	F9 Setup Default
	Enter Select Sub-Menu	F10 Save and Exit

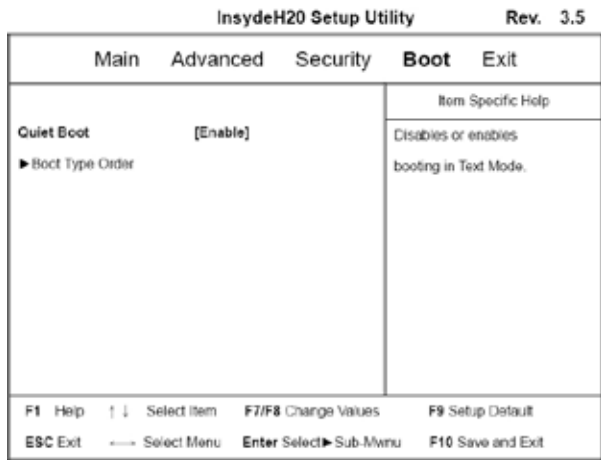
Set Supervisor Password(スーパーバイザのパスワード設定)

スーパーバイザのパスワードは、より低いレベルのユーザーのパスワードの前に設定する必要があります。**Change Supervisor Password** (スーパーバイザのパスワードの変更) を選択した後で、**Enter**を押します。新しいパスワードを入力し、再びパスワードを確認するように求められます。6文字以下で入力します。間違った場合、**Esc**を押してもう一度やり直します。

Set User Password(ユーザーのパスワード設定)

ユーザーのパスワードでは、セットアップユーティリティを入力しユーザーのパスワードを変更または削除することができますが、セットアップユーティリティを入力したりスーパーバイザのパスワードを変更または削除することはできません。また、無効にされたディスクへのアクセスを有効にすることもできません。

4.5 起動メニュー

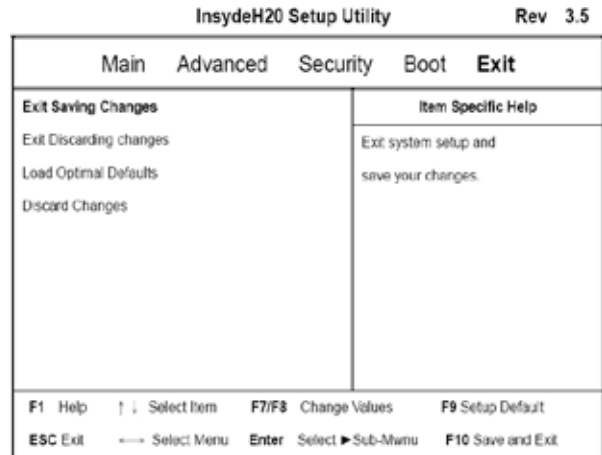


Quiet Boot(起動するときシステムのテストを行こうかどうかを設定します。)
[ENABLE]/[DISABLE] システムのテストを行う/システムのテストを行わない

Boot Type Order(起動デバイスの優先順位の設定)

起動デバイスを選択するには上下の矢印キーを使用し、<F7>を押してデバイスをリストの上に移動する、または<F8>を押してリストの下に移動します。このメニューを終了するには、<Esc>キーを押します。

4.6 終了メニュー



Exit Saving Changes(設定した内容を保存して終了)

ユーザーが加えた設定を保存し、BIOS設定メニューを終了します。

Exit Discarding changes(設定した内容を保存せず終了)

変更された設定を保存せずにシステムセットアップを終了します。

Load Optimal Defaults(最適化デフォルトのロード)

最適化デフォルトのロード。

Discard Changes(変更前の設定に戻します)

変更をキャンセル。



第5章 Smart Managerについて




スマートマネージャはバージョン変更のため、インターフェース、アイコン、順番や機能等において異なる場合があります。実際に搭載されたバージョンをご利用ください。

バッテリーステータス/ AC-IN:

バッテリーを装着している時は、バッテリーのアイコンが点灯し、バッテリーの残容量を表示します。バッテリー残容量が低くなるとアイコンは赤色で表示されます。ACアダプターを差し込むとAC-INアイコンが点灯します。



音量:

このアイコンの+をクリックすると 、音量を調整します。




ミュート:

このアイコンをクリックすると、ミュートを有効/無効にします。



輝度:

アイコンの+をクリックすると 、明るさを調整します。



ローテーション機能:

このアイコンをクリックすると、ディスプレイ画面の方向を回転します。



Bluetooth機能 (オプション):

このアイコンをクリックすると、Bluetooth機能を有効/無効にします。



3.5G機能:

このオプションを搭載する場合はこのアイコンをクリックすると、3.5G機能を有効/無効にします。



ワイヤレス機能:

このアイコンをクリックすると、ワイヤレス機能を有効/無効にします。



ウェブカメラ機能:

このアイコンをクリックすると、ウェブカメラ機能を有効/無効にします。

**出力信号の設定:**

このアイコンをクリックすると、LCD液晶にも外部出力にも表示します。



このアイコンをクリックすると、LCD液晶のみ表示します。



このアイコンをクリックすると、外部出力のみ表示します。

**電源管理モード設定:**

ワイヤレスLANをアクティブにします。



このアイコンをクリックすると、『省電力』モードを有効します。



このアイコンをクリックすると、『ハイパフォーマンス』モードを有効します。



このアイコンをクリックすると、『バランス』モードを有効します。



このアイコンをクリックすると、『プレゼンテーション』モードを有効します (Windows XP のみ)。



第6章 トラブルシューティング / Q&A

本章では、M1022 シリーズ Booktop使用中に発生すると思われる基本的なトラブルに対するアドバイスと解決方法について説明します。トラブルの解決方法については本章を参照し、説明に従ってください。

6.1 トラブルシューティング



警告: ご自分での作業が難しい場合は、作業する前に取扱店か本製品のサービスセンターにご相談ください。

ACアダプター

トラブル	解決方法
M1022 シリーズ Booktopの電源が入らない	ACアダプターが電源とM1022 シリーズ Booktopに接続されていることを確認します。 ケーブルとプラグが正常なことを確認します。破損している場合は、速やかに取扱店に連絡してください。

バッテリーパック

トラブル	解決方法
M1022 シリーズ Booktopの電源が入らない	バッテリーパックの残容量が不足しているためマシンに電源が入りません。ACアダプターを接続して充電します。 バッテリーパックの表面温度を確認します。温度が高過ぎたり低過ぎるとバッテリーパックは充電できません。温度が通常環境の温度になってから充電します。
ACアダプターを接続しても充電できない	バッテリーパックが完全に放電した場合、すぐには充電できません。数分待ってから充電します。 バッテリーパックの電源インジケータが点灯しない場合は残容量がきています。販売店に連絡して新しいバッテリーパックを購入してください。

バッテリーの残容量はM1022 シリーズ Booktopの使用状態により異なります。OSの [Power Manager (電源マネージャ)] の設定は変更できます。

バッテリーの残容量が短過ぎる

バッテリーパックは十分に充電しない状態を頻繁に繰り返すと残容量が短くなります。高いピープ音やバッテリー残容量の警告メッセージが出る状態までM1022 シリーズ Booktopを使用してから、充電を行うと比較的長時間使用できるようになります。



警告: バッテリーパックに関する次の情報に注意してください。

1. 使用済みバッテリーは必ずリサイクルしてください。
2. バッテリーを高温になる場所に置いたり、熱源または燃えている火に投げたりしないでください。爆発の危険があります。
3. 無断でバッテリーを組み立てたり、分解/改造しないでください。
4. 正規メーカーが提供するバッテリーパック以外は使用しないでください。正規メーカーが提供するもの以外のバッテリーを使用すると、装置が損傷する原因となります。

キーボード

トラブル	解決方法
文字キーを押すと数字が表示される	Num Lock が起動していないことを確認します。

表示が乱れる

キーボードを構成するソフトウェアがインストールされていないことを確認します。

警告: キーボードの保守に関しては、次の情報に注意してください。

1. キーボードを長く使用していると、埃がたまります。小さなブラシでキーボードを洗浄するようにお勧めします。キーボードの表面を洗浄する前にコンピュータをシャットダウンし、クリーナーまたは水に軽くしめらせた柔らかい布で拭きます。
2. キーボードに液体が入った場合、電源を直ちに切り、バッテリーを取り出して、製造元に連絡して修理を行ってください。キーボードを自分で分解して修理しないでください。

ハードディスクドライブ(HDD)

トラブル	解決方法
HDDが起動しない	ウイルスなどによりOSが破損している可能性があります。ウイルスを除去するかOSを再インストールします。 OSの作動中にエラーが発生した可能性があります。OSのマニュアルを参照してください。
HDDの動作が非常に遅い	ファイルの断片が多過ぎます。ディスクデフラグを使用してハードディスクのプログラムを再調整します。

警告: ハードドライブの保守に関しては、次の情報に注意してください。

1. ハードディスクは高速のデータ記憶装置です。ハードディスクの損傷とデータ損失を防ぐために、Booktopを不安定な場所で使用することはできるだけ避けてください。
2. 通常の起動/シャットダウン手順に従ってコンピュータを使用してください。不適切な起動/シャットダウン手順を頻繁に繰り返すとハードディスクの耐用年数が短くなります

LCD

トラブル	解決方法
画面に何も表示されない	外部モニタに接続している場合、 Fn + F5 ホットキーを押して表示モードを変更します。 システムが Hibernation (ハイバネーション)または Standby (スタンバイ)になっていないことを確認します。



警告: LCDに搭載されているパネルの構造上、下記の点にご注意ください。

1. 作業領域のエッジ部に強い力を掛けない。
2. パネルやフィルム面に強い衝撃や圧力を加えない。
3. パネルに重い物を乗せない。
4. LCD画面はBooktopのもっとも割れやすいコンポーネントで、強い力を加えると破裂する傾向があります。LCD画面が損傷する原因となるため、キーボードの上またはキーボードとスクリーンの間に物を置かないでください。
5. GIGABYTE M1022 シリーズ Booktopを携えて旅行する場合、特殊なケースにきちんと入れてください。物をいっばいに詰めすぎるとコンピュータが強く押され、LCD画面が損傷する危険があります。
6. 尖った物体または指でスクリーンに直接触れないでください。



7. 特殊な画面クリーニング布でLCD画面を拭くようにお勧めします。破損を避けるために、画面はそっと拭いてください。
8. LCD画面の成分が損傷する可能性があるため、画面に液体が入らないように注意してください。

プリンタ

トラブル	解決方法
M1022 シリーズ Booktopからプリンタにデータが出されれない	プリンタに電源が入っているか確認します。ケーブルが正常で、USBインターフェイスがM1022 シリーズ Booktopに接続しているか確認します。 プリンタがM1022 シリーズ Booktopと互換性のある機種であることを確認します。

印刷エラー	プリンタのユーザーマニュアルを参照してください。
-------	--------------------------

オーディオ

トラブル	解決方法
音が出ない	サウンドコントローラを調整します。 ソフトウェアの音声ボリュームの設定を確認します。 イヤフォンが正しく接続されているか確認します。 Windowsのデバイスマネージャを確認します。 音声機能が有効になっていること、他のハードウェアに干渉されていないか確認します。

USB

トラブル	解決方法
接続してある装置が作動しない	M1022 シリーズ BooktopのUSBポートが装置のUSBコードに正しく接続しているか確認します。 装置のドライバが正しくインストールされているか確認します。

スタンバイ/ハイバネーション

トラブル	解決方法
次のモードに変更できないスタンバイ/ハイバネーション	Windows Media Playerが実行されているか確認してください。実行されている場合、M1022 シリーズ Booktopはスタンバイ/ハイバネーションモードになりません。Windows Media Playerを終了してください。

LAN

トラブル	解決方法
接続できない	RJ45コネクタがネットワークハブやスイッチに正しく接続されているか確認します。

6.2 Q&A

- ◇ すぐハイバネーションモードに切り替わるので、頻繁にキーを押すか、マウスを移動させて画面を表示しなければなりません。どのようにすると直りますか？

これはWindowsの電源管理で調整できます。[スタート]、[コントロールパネル]、[電源オプション]に進んで[電源管理]にアクセスして、[モニタの電源を切る]オプションの時間を希望する時間に変更します。電源またはバッテリーを切る時間を選択できます。

- ◇ ハードドライブでファイルのクリーニングを行ったり調整するとプログラムの起動時間を短縮できるそうですが、どのようにするのですか？

定期的にディスクの保守作業を行うとプログラムの起動時間を短縮できます。ファイルが効率的にグループ化されるよう、不要なファイルを削除してハードディスクのデフラグを行います。Windowsには、これらの作業を行う保守ユーティリティが搭載されています。ディスククリーンアップを実行して不要なファイルを除去し、ディスクデフラグで断片化したファイルを最適化してください。これらのユーティリティの詳細はWindowsのマニュアルを参照してください。

- ◇ Booktopコンピュータで使用する外付けマイクにはどのようなものがありますか？

自己増幅式のマイクが必要です。

- ◇ スピーカーからエコーが出ます。どのようにすると直りますか？

タスクバーのスピーカーアイコンをダブルクリックして、[Microphone Balance(マイクのバランス)]で[Mute(消音)]ボックスにチェックマークを付けます。

- ◇ ソフトウェアのエラーで、コンピュータをシャットダウンできません。電源ボタンを押してコンピュータの電源を切ろうとしましたが、それでも電源を切れません。どのようにすると強制的に電源を切ることができますか？

電源ボタンを4秒以上押し続けます。通常はこれでコンピュータがシャットダウンします。

- ◇ しばらく使用しなかったポータブルコンピュータのバッテリーを充電しようとしたが、できません。

長期間使用しない場合(例えば1か月以上)、バッテリーは低電圧保護モードに替わります。この状態になると、通常電圧に戻るためには、バッテリーは数時間かけてゆっくり充電します。完全に充電されると、コンピュータは通常の作動に戻ります。

- ◇ コンピュータに「CMOS Battery Low(CMOSが低バッテリーです)」というメッセージが表示されました。どうすればよいですか？

コンピュータに電源が入っていない(コンピュータの電源をコンセントから抜いて、バッテリーパックも取り外す)状態が45日以上続くと、CMOSに保存されている情報が失われます。

次の手順に従ってCMOSの設定を再構成してください。

1. F2を押してBIOSのセットアップユーティリティを起動します。
2. [Load Optional Defaults(オプションの既定を読み込みますか)?]を選択します。次のプロンプトが表示されたら、[OK]を選択して[Enter]を押します。
3. [Save Changes and Exit(変更を保存して終了する)]を選択して[Enter]を押すと、コンピュータが再起動します。

- ◇ デバイスのコードを抜く/デバイスを取り外す

1. タスクバーの隣にある通知エリアの取り外しアイコンをダブルクリックします。[Safe Removal(安全な取り外し)]に、現在本体に接続されているプラグアンドプレイに対応した安全に取り外しができるデバイスの一覧が表示されます。
Safe Removal(安全な取り外し)アイコンが表示されない場合は、そのデバイスを安全に取り外すことができないので、[Safe Removal(安全な取り外し)]を使用してコードを抜いたり、デバイスを取り出すことはできません。
2. [Safely Remove Hardware(安全に取り外しできるハードウェア)]のデバイス一覧から、コードを抜く/取り外すデバイスを選択し、[Stop(停止)]をクリックします。これでシステムに、これからデバイスのコードを抜く/取り外すことを連絡します。

3. [Stop a Hardware device(ハードウェアデバイスの停止)]で[OK]をクリックします。
安全にデバイスのコードを抜く/取り外すことができるというメッセージが表示されます。

警告

- はじめに「Safe Removal(安全な取り外し)」アプリケーションを使用してシステムに警告を出さず、安全な取り外しをサポートするデバイスのコードを抜く/取り外すと、データを紛失したり、システムが不安定になることがあります。例えば、[Safe Removal(安全な取り外し)]を使用する場合は、デバイスのコードを抜く/取り外す前にシステムに警告を出して、データロス未然に防ぐことができます。

メモ:

- システムがオンになっているときに安全に取り外すことができる記憶装置では、既定のキャッシュ書き込み機能が無効になります。こうすることでデータを紛失しないでデバイスを取り外すことができます。ただし、キャッシュの書き込みが無効な場合はパフォーマンスが低下するので、デバイスを取り外した後は必ずキャッシュの書き込みを有効にします。

- ◇ M1022 シリーズには、Bluetooth機能の有効/無効を切り替えるためのハードウェアスイッチまたは機能ボタンが付いていますか？

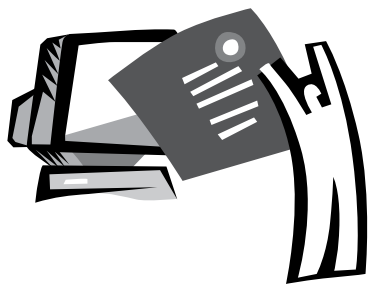
M1022 シリーズには、3G (Fn+F10)とBluetooth (Fn+F11)機能の有効/無効を切り替えるための組み合わせ機能ボタンが付いています。

- ◇ M1022 シリーズがサポートできるSDHCカードの容量はどのくらいですか？

M1022 シリーズ SDカードリーダーがサポートするSDHCの仕様は、SDアソシエーションの仕様に従う必要があります。現在、SDアソシエーションが発表している最大容量は32GBです
<http://www.sdcard.org/developers/tech/sdhc/>

- ◇ DOSとWindowsモードでM1022 シリーズをアップグレードするには、どうすればよいのですか？

GIGABYTEウェブサイトの「DOSおよびWindowsモードでのM1022 シリーズアップグレード方法」をご参照ください。



付録I

仕様

プロセッサ

- Intel® Atom 1.6GHz N270、または
- Intel® Atom 1.66GHz N280

OS

- Microsoft Windows XP準拠
- Microsoft Windows 7準拠

コアロジック

- Intel® 945GSE

メモリ

- DDRII SO-DIMM X 1、最大2 GB
- 当モデルと互換性のあるHDDおよびRAMについては、GIGABYTE AVLリストを参照してください。

ビデオインターフェイス

- Intel® 945GSE

ディスプレイ

- 10.1" LCD/パネル/WSVGA 1024 x 600、または
- 10.1" LCD/パネル/WXGA 1366 x 768

ハードディスクドライブ

- 2.5インチ、9.5 mm S-ATA HDD 160GB/250GB/320GB

光学式ドライブ

- USB接続の外付けODD

入カデバイス

- 86キー日本語キーボード/タッチパッド

I/Oポート

- USB X 3、マイク(入力)/イヤフォン(出力)/D-SUB
- RJ45 / 4 in 1カードリーダー / Expressカード(M1022Cは非対応)
- e-SATA(オプション)

オーディオ

- スピーカー1.5ワットx 2

Bluetooth

- Bluetooth 2.1内蔵 (オプション)

Webカメラ

- 1.3M画素CMOSカメラ

LAN/ワイヤレスLAN

- LAN/ワイヤレスLAN
- 802.11b/g/nミニカード
- ミニカードによる3.5Gモデム (オプション)

キーボード

- 86キー日本語キーボード

保護

- ケンジントンロック

バッテリー

- リチウムイオンバッテリー4400mAh(4セル)、または
- リチウムイオンバッテリー7800mAh (6セル)

寸法&重量

- 265 x 191 x 26.5~30.5mm
- 1.26kg (4セルバッテリーを含む)
- ~1.3kg (6セルバッテリーを含む)

サービス

- 詳細は <http://www.GIGABYTE.com.tw>



.....
上記はユーザーの参照用に提供される一般的な仕様です。最終的な構成は購入されたM1022 シリーズ Booktopにより異なります。



付録II

**XPRESS RECOVERY 3
Lite** について

ウルトラモバイルBooktopを工場デフォルト値に復元する方法

復元する時機：コンピュータがウイルスに感染したか、オペレーティングシステムを工場デフォルト値に復元したい何らかの理由がある場合。

Xpress Recovery3 Lite (XR3 Lite) Professional Recoveryユーティリティを実行します。次の手順に従って実行してください。

1. まずコンピュータを起動させます。システムがすでに稼働中の場合は、コンピュータを再起動させます。
2. 起動画面(トレードマーク、ロゴ、またはテキストなど)が表示された直後、DOSの画面が表示されます。ここでF9を押します。

* F9は専門家による設定を復元する際に使用する一般的なホットキーです。ホットキーが機能しない場合は、コンピュータのメーカーに問い合わせてください。

3. メニューには、「RESTORE(復元)」(データの復元)、「ABOUT(バージョン情報)」(XR3ソフトウェア関連の情報を表示)、および「REBOOT(リブート)」(復元をキャンセルしてコンピュータを再起動)の4つのオプションがあります。「RESTORE(復元)」を選択して工場出荷時の規定設定に戻すことを推奨します。



4. 次にメニューに「Restore Image(イメージを復元しますか)?」が表示されます。「YES(はい)」を選択してイメージファイルを復元してください。* 「Image file(イメージファイル)」とは、WindowsのOSのデータをすべて圧縮した圧縮ファイルです。イメージファイルの復元により、オペレーティングシステムは工場デフォルト値復元します。



5. すべての選択が終了すると、画面には「RESTORE NOW(今復元する)」が表示され、コンピュータが現在OSのデータを復元中であることがわかります。復元が完了すると、コンピュータは自動的に再起動し、工場出荷時の規定設定に戻ります。





付録 III サービスセンター

本付録には、M1022 シリーズ Booktopコンピュータを取り扱っている各国のサービスセンターの一覧が記載されています。

台湾GIGABYTEサービスセンター

6F, No.136, Jien-Yi Rd., Chung-Ho, Taipei Hsien, Taiwan.
電話: +886-2-8227-6136
ファックス: +886-2-8227-6163

WEBアドレス(英語): <http://www.gigiabyte.com.tw/>
WEBアドレス(中国語): <http://www.gigiabyte.tw/>

米国サービスセンター G.B.T. INC.

電話: +1 (626) 854-9338
ファックス: +1 (626) 854-9339
WEBアドレス: <http://www.gigiabyte.us>

中国 G.B.T. TECH. TRADING CO., LTD.

WEBアドレス: <http://www.gigiabyte.com.cn/>
シンセン
電話: +86-755-8240-8099
ファックス: +86-755-8240-8066

寧波
電話: +86-574-86869292
ファックス: +86-574-86860781

北京
電話: +86-10-62978099
ファックス: +86-10-62980499

広州
電話: +86-20-38491240
ファックス: +86-20-38491140

上海
電話: +86-21-57638748
ファックス: +86-21-57638320

西安
電話: +86-29-85531943
ファックス: +86-29-85519336

ドイツ

電話: +49 40 25330433
住所: BULLENKOPPEL 16 22047 HAMBURG

ギガバイトノートブックサポートセンター

電話番号: 0570-001081 (通話料はお客様負担となります)
住所: 東京都大田区中央2-17-8
営業時間: AM10:00~PM18:00
月曜日から金曜日(土曜、日曜及び祝日は休み)

保証条項

1. GIGABYTEの製品保証は、販売店が発行した請求書に記載された日付から始まります。法律上の権利と所有権を保護するために、この請求書を適切に保管する必要があります。
2. さまざまな製品の保証期間を確認するには、GIGABYTEの関連するWebページ:<http://service.GIGABYTE.tw/>にアクセスしてください。販売店は、提供または販売した製品の保証について責任があります。
3. ビジネスパートナーが販売または再販売した製品の保証の開始日は、条項2に従って決定されるものとします。
4. この保証はプリインストールされたソフトウェア製品、OS、消耗品およびその他のアクセサリには適用されません(ギフト/ラックサック/ディスク/マウス/梱包材料など)。
5. GIGABYTEの販売店の請求書がない場合、保証期間はGIGABYTEラベルおよび製品のシリアル番号に基づいて決定されます。
6. GIGABYTEラベルまたは製品のシリアル番号がない場合、シリアル番号が製品に一致しない場合または判読できない場合、保証またはアフターサービスは延長されません。修理の必要が生じた場合、お買い上げの販売店に連絡してその方法をお尋ねください。
7. 購入日から7日以内に製品に欠陥または不具合が見つかった場合(条項11に記載された場合を除く)、お買い上げ時の梱包に入れ販売証明書を付けた状態ですべてのアクセサリを含む製品を新製品と交換するように購入店に要求することができます。上記のどちらかが欠けている場合、欠陥または不具合は修理で対応させていただきます。
※販売店が即納可能な代替品を在庫していない場合、直ちに代理店に代替品の有無を問い合わせる必要があります。
8. 人的過失により新製品の外観が損なわれた場合、GIGABYTEに新製品との交換を要求することはできません。
9. 修理のために送り返す製品はご購入時の梱包材料、または適切な材料を使用して梱包される必要があります(例えば、段ボール、エアバッグまたはポリフォームなど)。不適切な梱包により輸送中に損傷した場合、GIGABYTEでは保証サービスを提供いたしません。
10. 保証期間中に修理のために返送された製品を修理できない場合、GIGABYTEは同等の新製品と交換いたします。
11. 次の理由で製品が故障または破損した場合、この保証は無効となります。
 - (1) 自然災害、事故または人的過失
 - (2) 製品のユーザーマニュアルの取扱説明書に違反した
 - (3) 取り付けサービスによる不適切な組み立てまたは要求
 - (4) 不正アクセサリの使用
 - (5) 許容されない環境下での製品の使用
 - (6) 未承認の分解
 - (7) 乱用
 - (8) 配線または部品の酸化
 - (9) テスト装置としての製品の使用(RAM、VGA、USBテストなど)
 - (10) コンピュータウイルスに起因する問題または故障
12. ご注意ください。修理のために製品を送り返す前に、重要なデータのバックアップをお取りください。GIGABYTEは製品の修理とテストにのみ責任を負うものとし、データバックアップなどのサービスは提供いたしません。GIGABYTEは修理中のデータ損失に対して責任を負わないものとします。